



企画展

没後100年・生誕150年
漱石と広島

平成28年

平成29年

期間 12月3日(土)~2月12日(日)

※期間中の休館日：月曜日(1月9日を除く)、12月27日(火)、12月29日(木)~1月4日(水)、1月10日(火)、1月31日(火)
※期間中の開館時間：火~金 9:00~19:00、土・日・祝 9:00~17:00

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール 入場無料

後援 広島県、広島県教育委員会、安芸太田町

県立神奈川近代文学館所蔵

講演会

ミステリーの中の夏目漱石

—— 島田 荘司『漱石と倫敦ミイラ殺人事件』を読む ——

講師 岩崎 文人氏 (広島大学名誉教授 ふくやま文学館館長)

日時 12月4日(日) 14時~16時 ※申込方法など詳細は裏面をご覧ください。

主催 「漱石と広島」の会、広島市立中央図書館

企画展

— 没後100年・生誕150年 —

漱石と広島

会場 2階 展示ホール

平成28年度は、日本を代表する作家、夏目漱石(1867年～1916年)の没後100年、生誕150年にあたります。広島には、夏目漱石の弟子の一人である鈴木三重吉をはじめ、漱石の教え子の一人である加計正文等、漱石とゆかりの深い人物がいたことから、その親交の様子が伝わる書籍や書簡等が遺されています。また、漱石自身も広島を訪れたことがあり、妻の鏡子が広島出身であることなど、漱石と広島には多くの関わりがあります。本展では、夏目漱石と広島ゆかりの人々との交流、漱石が広島を訪れた際に目にしたであろう風景などを中心に、中央図書館所蔵資料等でご紹介します。

また、会期中には関連行事として、岩崎文人氏(広島大学名誉教授 ふくやま文学館館長)を講師に迎え、講演会を行います。



鈴木三重吉愛蔵書『草合』
夏目漱石／著
(広島市立中央図書館所蔵)



鈴木三重吉宛「夏目金之助(漱石)書簡」
(広島市立中央図書館所蔵)



初版本「心」
夏目漱石／著(個人蔵)



明治28年「日本三景之一厳島神社之図」
(個人蔵)



明治期の広島駅
(広島市立中央図書館所蔵)

講演会

ミステリーの中の夏目漱石

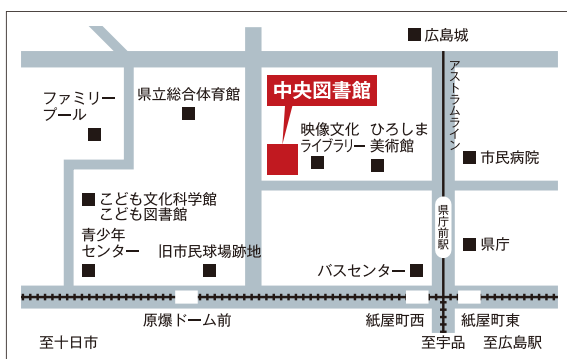
— 島田 荘司『漱石と倫敦ミイラ殺人事件』を読む —

本格ミステリーの第一人者である島田荘司の作品「漱石と倫敦ミイラ殺人事件」を取り上げ、小説・ミステリー文学についての夏目漱石の描かれ方について、お話しいたします。

講師 岩崎 文人氏 (広島大学名誉教授 ふくやま文学館館長)

日時 12月4日(日) 14時～16時 会場 3階 セミナー室 定員 60名 (要申込・先着順)

申込方法 来館、電話、FAX、ホームページの専用フォームから。11月1日(火)9時から受付開始。
※手話通訳、要約筆記が必要な方は11月8日(火)までにお申込みください。



お問い合わせ・講演会の申込み

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542

FAX 082-222-5545

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>